

地域の学習素材を巡る in 三笠

8月5日（火）実施より

昨年に続き、三笠市の教職員を対象に研究所で企画した地域巡りを実施しました。

地域学習を効果的に展開するためには、特に教師自身が三笠の地域の魅力や歴史を理解することが大切であるとのことから、今年は、幌内地区の炭鉱遺産巡りを中心に計画しました。

しかし、当日は豪雨の天候となり、急遽屋内施設研修に変更しました。



体育館全体のアートプロジェクト

① 旧 三笠市立美園小学校 体育館

「川俣 正 三笠プロジェクト」

●三笠市出身の美術家 川俣 正氏による、アートプロジェクト

かつて炭鉱で栄えた町の風景をモチーフとしたインスタレーションを制作

～三笠フレンズ 記載より～



参加者全員が感動した大作品を背景に

三笠フレンズの事務局長である逢坂康雄様にご案内いただきました。体育館全体にスケールの大きな炭鉱町を再現しています。

昨年、三笠小学校の児童も学習し炭鉱長屋の一部を製作しています。約1500個の長屋は教育大学学生の粘り強い取り組みの成果でもあるとのことでした。

山の内部には、夜の炭鉱町が再現されています。灯りは一軒一軒の生活そのもので、実に感動的な光景です

(連絡先～教育委員会)

② 三笠市博物館・・・三笠一億年の歴史・・・

栗原研究員のご説明により、ジオパークを含め博物館内部の展示物について研修しました。

ジオパークは、ユネスコプログラムとして五年ごとに認定確認があり、今後教育活動との関連を深めてい

くことが重要視されるとのことです。

開拓の歴史と囚人、炭鉱のくらしなど、説明とともに確認することができ今後の学習に活用できる内容ばかりで日常の学習活動では、日程が合えば、研究員のご案内も可能とのことでした。

現在は、生きたオウムガイが展示されています。



栗原健一主任研究員による説明



③三笠モダンアート ミュージアム

旧幌内中学校にある、ミュージアムには統合前の各小中学校の記念の品々が整理されています。

また、三笠出身の芸術家の作品も多数展示されており、時間をかけてゆっくり学ぶことのできる施設です。

④ 山崎ワイナリー

三笠達布山を過ぎると、一面のぶどう畑が広がります。この地で、四代にわたり農業経営されている山崎ワイナリー。今日に至るまでのご苦労や、この地を愛し夢を描きつづける想いを、山崎太地様にお話いただきました。

消費者と生産者がふれあって、見て、直接購入できる関係を大切にしていることや、ご自身のワイン造りに対する考え方に感銘しました。

ワインの香り漂うホールで、参加者は「生き方」そのものを学ぶ機会をいただきました。

すでに、市内の学校では、地域学習として展開しています。雨でぶどう畑の見学ができず残念でしたが、ゆっくりお話を聞かせていただきました。



山崎ワインと山崎太地様



●ご協力くださいました皆様に心より感謝申し上げます。